

グローバル旅行アプリ スカイスキャナー、「2026年の海外旅行意識調査」を発表 8割が海外旅行のためなら「日常の出費を我慢できる」と回答 日常のプチ贅沢を削った日々の賢い節約で旅行する“ロジタビ”ヘシフト！ “堅実で計画的”な旅をデータで支援する新機能「最もおトクな旅行先ナビ」を公開！

世界中の航空会社・旅行会社・ホテルなど約1,200のウェブサイトから最適な旅行プランを提供する”グローバル旅行アプリ” [Skyscanner Japan株式会社](#)（本社：東京都港区、以下スカイスキャナー）は、18歳以上の日本人1,000人を対象に「2026年の海外旅行に関する意識調査」を実施しました。

調査結果からは、円安や価格変動の影響で費用面への懸念を抱きつつも、多くの旅行者が感情や衝動ではなく、データに基づいた判断や日々の計画的な節約を行い、ロジカルにコストパフォーマンスを最大化する旅のスタイル”ロジタビ”を実践し、賢く海外旅行を実現しようとする実態が浮き彫りになりました。



〈調査結果サマリ〉

1. 旅行予約の最大のハードルは「費用」と判明。7割以上が抱える“心理的負担”の実態とは

予約の見通しに心理的負担を感じる人の74%が、その理由として「費用の懸念」を回答。価格や円安が旅行計画の大きな壁となっています。

2. 海外旅行のためなら8割が「日常の出費を我慢できる」と回答。旅は“衝動”ではなく、“計画的に選ばれる”時代へ

旅行資金のためなら「外食（52.3%）」や「タクシー（36.2%）」を我慢すると回答。日常のプチ贅沢を削り、旅に一点投資する堅実な傾向が見られます。

3. 節約のために我慢できる旅の要素、1位は「宿泊施設」と判明！旅行における体験の優先順位が浮き彫りに

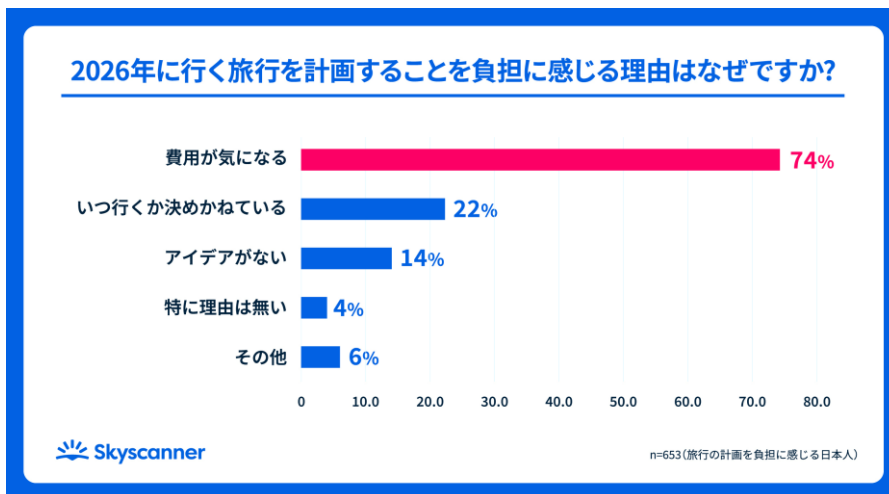
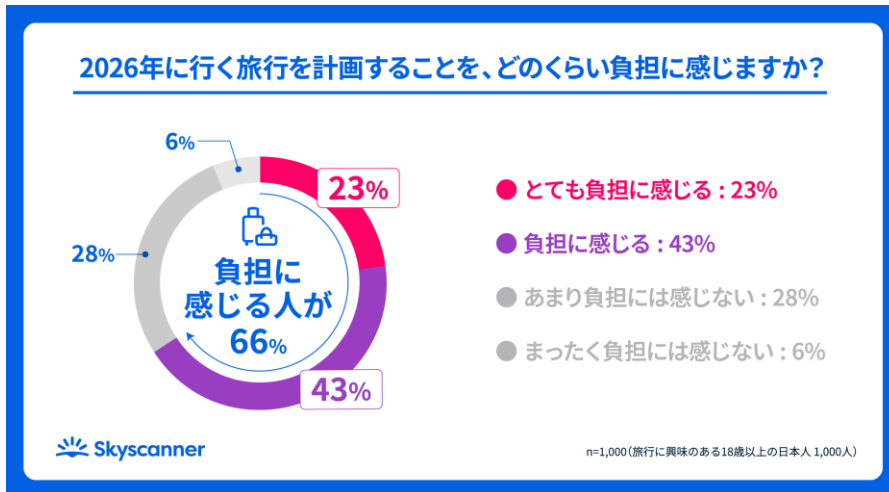
旅費を抑えるために変更できる点として、37.1%が「宿泊施設」を選択。一方、「旅行期間の短縮」を選ぶ人は少なく、滞在体験そのものは重視する姿勢が明らかになりました。

4. 1月の旅行計画は約2人に1人が「最安値」で予約を決断！感覚よりもデータを重視する“ロジタビ”の実態

1月の旅行計画において、回答者の2人に1人が「最も安い旅行先を知ること」で予約意欲が高まると回答。感覚や思いつきではなく、データに基づいて賢く選ぶ“ロジタビ”が定着しつつあります。

1. 旅行予約の最大のハードルは「費用」と判明。7割以上が抱える“心理的負担”の実態とは

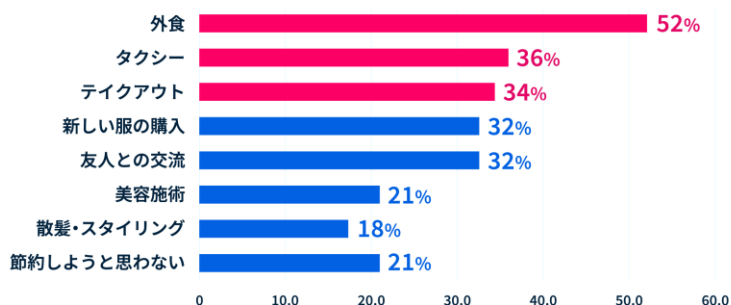
2026年の旅行予約の見通しについて、66%が「心理的負担を感じる」と回答しました。その最大の理由は74%が回答した「費用が気になる」でした。多くの旅行者にとって、経済的な要因が旅行計画における最大の課題であることが明らかになりました。しかし、旅行者はこの課題に対し、単に諦めるのではなく「計画的」に向き合う姿勢を見せています。



2. 海外旅行のためなら8割が「日常の出費を我慢できる」と回答。旅は“衝動”ではなく、“計画的に選ばれる”時代へ

旅行資金を確保するためなら、大多数が日々の生活費を調整する意思があることが判明。具体的な節約項目として最も多かったのは「外食」が52%で、次いで「タクシー」が36%、「テイクアウト」が34%と続く結果となりました。また、金銭面だけでなく時間の使い方も計画的です。また、約6割が「週末や祝日に合わせて休暇を調整し、旅行日数を確保する」と回答しており、カレンダーを駆使して効率的に旅程を組む傾向が見られます。これらは、旅行が「思いつきで行くもの」から、日々の生活の中で資金と時間を組み合わせ、計画的に海外旅行という「非日常の体験」に一点集中で投資する、堅実な旅行スタイルへと変化しています。

旅行のために我慢できる日常の出費で当てはまるものを教えてください



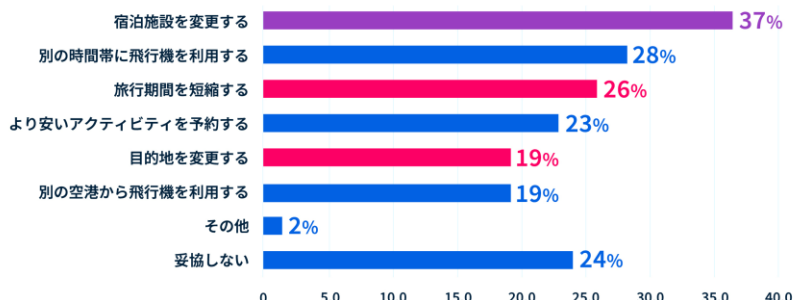
Skyscanner

n=1,000 (旅行に興味のある18歳以上の日本人1,000人)

3. 節約のために我慢できる旅の要素、1位は「宿泊施設」と判明！旅行における体験の優先順位が浮き彫りに

費用を抑えるための妥協点については、「宿泊施設を変更する」が37%と最多となりました。一方で、「旅行期間を短縮する」が26%であることや「目的地を変更する」が19%と比較的少なく、「行きたい場所へ行き、十分な時間を過ごす」という体験の核を守るために、ホテルのランクなどは柔軟に調整するという、メリハリの効いた判断が行われていることがわかります。

旅行の費用を抑えるために妥協できるものはどれですか？



Skyscanner

n=1,000 (旅行に興味のある18歳以上の日本人1,000人)

4. 1月の旅行計画は約2人に1人が「最安値」で予約を決断！感覚よりもデータを重視する“ロジタビ”の実態

1月に翌年の旅行を予約する可能性を高める要因として、「最も安い旅行先を知ること」と約2人に1人が回答しました。また、「最も安い旅行先のヒントを得る」も上位に入っています。感覚で決めるのではなく、価格トレンドやデータに基づいて最もお得なタイミングや行き先を狙う、合理的な旅のスタイル、まさに“ロジタビ”と呼ぶべき予約行動が定着しつつあります。

〈調査概要〉

調査タイトル：「2026年の海外旅行」に関する意識調査

調査方法：インターネット調査

調査時期：2025年12月10日～12月15日

調査対象：旅行に興味のある18歳以上の日本人 計1,000人

調査機関：One poll

■ データの力で「ロジタビ」を支援。

2026年の旅行計画をサポートする新コンテンツと新機能をローンチ

スカイスカナーはこうした調査結果から、旅行者が抱える「費用の不安」を払拭し、データに基づいた賢い選択であるロジタビをサポートするため、数千ものルートと数百万件の価格データを分析し、2026年の旅行計画に役立つ、2つの新たなコンテンツと機能を公開しました。

1. 2026年に訪れるべき「最もおトクな旅行先トップ5」

膨大なフライトデータと価格トレンドを分析し、2026年にコストパフォーマンスが最も高いと予測される5つの旅行先を厳選しました。「費用は抑えたいが、どこに行けばいいかわからない」「インスピレーションが欲しい」という旅行者に対し、データに裏打ちされた“間違いのない”選択肢を提案します。

順位	目的地	平均フライト価格
1	沖縄本島（沖縄）	29,707円
2	宮古島（沖縄）	39,651円
3	セブ島（フィリピン）	49,761円
4	タムニン（グアム）	68,094円
5	バンコク（タイ）	72,984円

スカイスカナーの検索データに基づくランキング



2. 「最もおトクな旅行先ナビ（Cheapest Destinations Planner）」

最もおトクな旅行先ナビは予算を抑えながら旅行先の選択肢を広げる、スピーディーで賢い検索ツールです。ユーザーが指定した月ごとに、平均価格が安い旅行先をランキング形式で提示します。感覚ではなく数字で比較できるため、費用を懸念する多くの旅行者にとって強力なサポートツールとなります。



「最もおトクな旅行先ナビ」の使い方は簡単3ステップ

＜ステップ1＞：旅行したい「月」を選ぶ 具体的な日程が決まっていなくても、行きたい時期（月）を選択するだけでリサーチを開始できます。

＜ステップ2＞：その月の「最も安く行ける旅行先トップ10」を表示 選択した月の平均航空券価格が安い順に、トップ10の旅行先が表示されます。価格だけでなく「その場所を訪れるべき理由」や、統計的に算出された「最も安く旅行できる日」も併せて確認可能です。

＜ステップ3＞：ワンクリックで詳細検索へ 気になる行き先が見つかったら、クリックするだけで具体的なフライトやホテルのオプション検索へスムーズに移行します。

「2026年 最もおトクな旅行先トップ5」および「最もおトクな旅行先ナビ」は、以下のページよりご利用いただけます

<https://www.skyscanner.jp/travel-trends/cheap>

「ロジタビ」で切り拓く2026年の新たな旅の形 — スカイスキャナー トラベルエキスパート 岡田 健太郎 —



Skyscanner Japan トラベルエキスパート
岡田 健太郎

調査結果が示す通り、2026年の旅行計画において『費用の不透明さ』は旅行者にとって最大の心理的ハードルとなっています。しかし、多くの日本人が旅行そのものを諦めているわけではなく、日々の節約や情報収集を通じて、より賢く、計画的に旅を実現しようとしている姿勢が明確になりました。

私たちが提唱する“ロジタビ”において最も重要なのは、感覚ではなくデータに基づいた意思決定です。行き先や日程を少し柔軟にするだけで、旅行費用は劇的に抑えることができますが、個人で膨大な価格変動を追うのは容易ではありません。今回ローンチした『最もおトクな旅行先ナビ』は、スカイスキャナーが持つ価格検索データを分析し、『今、どこに行くのが最も賢い選択か』を客観的に可視化するツールです。テクノロジーに面倒なリサーチを任せることで、皆様が予算への不安を解消し、純粋に旅の体験を楽しめるようになることを願っています。

【スカイスキャナー調べ】2026年の出発日は「月曜日」がおトク！？

スカイスキャナーの分析によると、2026年に平均して最も安く飛べる日は「月曜日」です。しかし、日本の旅行者に対する調査では、最も多かった回答は「分からない / 特になし」が27.1%でした。次いで「月曜日」が24.0%と予想した人も一定数いましたが、全体の約3割近くが安い曜日を把握できておらず、また19.6%が「火曜日」や19.6%が「水曜日」と予想する人も多く意見が割れています。

実際にはルートや月によって最安日は異なりますし、いつが安いかを正確に把握するのは難しいものです。だからこそ、勘やイメージに頼るのではなく、スカイスキャナーの「月全体」検索のような便利なツールを使って、カレンダー上でどの日程が最もお得かを可視化することが、賢い「ロジタビ」への近道となります。

行き先選びだけでなく、予約完了までのすべてをサポート“ロジタビ”の実践に ぴったりなグローバル旅行アプリ スカイスキャナーのご紹介

スカイスキャナーでは旅行者の様々なニーズに併せてフライト、ホテル、レンタカーなどの旅のオプションのリサーチと予約を簡単にし、時間とお金の節約をする機能を提供しております。どんなタイミングでも、スカイスキャナーを利用すればお手軽に旅行計画を行うことが出来ます。

1. 包括的な検索機能

スカイスキャナーは、先進のテクノロジーを活用して旅行計画をシンプルにし、毎日1,000億件以上の価格データを検索して、旅行者に最適なオプションを提供します。世界中の1,200以上の航空会社、旅行代理店、ホテル、レンタカーの情報を一つのプラットフォームで検索・比較することができます。ユーザーは、目的地や日付に関係なく、最適な旅行オプションをすぐに見つけることができ、効率的に旅行の計画を立てるお手伝いをいたします。

2. お得に効率よく旅行が出来るような便利なツールが満載！

スカイスキャナーには、より旅行の計画を簡単にするための便利な機能を3つ搭載しています。

・「プライスアラート」機能

希望する旅行日程や目的地の価格を追跡し、リアルタイムで価格の変動を通知します。最もお得なタイミングで予約が可能で、費用を抑えることができます。

・「カレンダー／チャート表示」機能

1か月の全ての価格を一覧で見ることができます。お得な出発日を簡単に検索することが可能です。

・「レンタカー」機能

受け取り場所や利用規約などのフィルターを活用して、移動に最適なレンタカーを素早く見つけられます。

3. 旅行者に優しい、公正・誠実・透明性のある価格宣言

スカイスキャナーは旅行者を第一に考えるブランドであり、常に共感、正直さ、透明性を重視しています。私たちは偏りなく、公平な情報を提供し、不安を煽るような手法や購入を迫るようなプレッシャーは一切かけません。隠れた料金や、クッキーによる価格引き上げもありません。

Skyscanner Japan 会社概要

スカイスキャナーは、簡単かつ安心して旅行を計画・予約できるよう、世界をけん引するグローバル旅行アプリです。毎月、スカイスキャナーは180か国37言語で数百万人の旅行者と1,200以上の信頼できる旅行パートナーをつなぎ、最適なフライト、ホテル、レンタカーのオプションを提供しています。2003年に設立されたスカイスキャナーは、ヨーロッパ、アジア太平洋、北アメリカに拠点を持っており、データと洞察に基づいて旅行者を最優先に考えたイノベーションを開発してきました。スカイスキャナーは最新のテクノロジーを活用して、旅行における煩雑な要素を簡素化、誠実で透明性のあるソリューションを提供します。毎日1,000億件以上の価格を検索することで、旅行者が「最良の選択肢をすべて一か所で確認できる」安心を実現しています。

【会社概要】

会社名	: Skyscanner Japan株式会社
設立年月	: 2015年7月
コーポレートサイトURL	: http://www.skyscanner.jp/mobile.html
アプリダウンロードURL	: https://skyscanner.app.link/
対応OS	: iOS/Android

